

未来を見つめた生活で身に付く「力」!

中学時代、それは、人生で初めて自分の責任で自分の進路を選択する時期です。子どもたちは、自分なりに進路を考え、勉強を頑張らなければならないという思いとともに、心のどこかに絶えず不安を抱えています。

保護者にとっても、子どもに対する期待と不安が交錯する時期ではありますが、まずは、子どもの気持ちを受け止める姿勢を大切にしていきたいと思います。子どもの考えをしっかりと聞く機会をつくり、子どもの努力や過程を認めてあげること、厳しくも暖かい励ましを積み重ねることこそが、子どもに意欲を持たせ、進路を切り開かせることにつながります。

そして、家庭学習は、自分の進路を自分の手でつかむためになくてはならないものです。自分の将来に向かって毎日の地道な積み重ねとなる家庭学習の習慣を身につけることができる環境づくりとともに、子どもたちへの指導をよろしくお願いいたします。

進路確保

確かな学力

授業・家庭学習

正しい心・優しい心
基本的な生活習慣

家庭学習時間の目安(例)

校種	年齢	平日	休日	主な学習内容
幼稚園	3～5才	10分	10分	読み聞かせやふれあい遊びで学ぶ喜びを感じる。
小学校	1～2年	30分	60分	宿題、音読、漢字・計算練習、日記
	3～4年	60分	90分	宿題、復習、音読、漢字・計算練習、日記
	5～6年	90分	2時間以上	宿題、予習復習、音読、漢字・計算練習、日記、興味関心のある自主学習
中学校	1～2年	2時間以上	3時間以上	宿題、予習復習、自主学習の定着、定期テスト対策
	3年	3時間以上	4時間以上	宿題、予習復習、進路確保に向けた自主学習、定期テスト対策

学力アップは規則正しい生活が

- 早寝・早起きをして、朝ごはんを食べる。
- 朝の排便を大切に!
- テレビ、ゲームは時間を決める。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家族の一員として、手伝いをする。



家庭学習のポイント

- (1) 決まった時間・場所で毎日する。
- (2) 自分で計画を立ててする。
- (3) 集中する。(「ながら勉強」をしない。)
- (4) 正しい姿勢で机に向かう。
- (5) わからないときは教科書で調べる。

自分を大切に、社会や学校のルールを大切に、周囲の人を大切にする心が学力向上につながります。また、家庭で勉強に取り組む環境づくりだけでなく、正しく生きること、優しく生きingことを教え導いていくことも、確かな学力の定着につながります。お子さんが前向きで、夢に向かって充実した生活が送れるよう、あたたかく見守ってください。

校長先生から

現在日比中学校では、どの学年も落ち着いて、前向きな姿勢で授業に取り組んでいます。今年度の全国学力調査の結果をみると、国語A(主知識)は県や全国の平均正答率をやや上回っていました。しかし、国語B・数学は、平均には近づきつつありますが、まだまだ課題が見られます。特に自分の考えを書く問題や以前習った基礎的な問題について、答えていなかったり、正しく答えられていなかったりしていました。授業でも、班で考えたり、説明したり、考えをまとめたり、書いたりする活動を取り入れています。授業や宿題に復習の問題を入れるなどしています。

学びの力をつけるためには、基礎をしっかり身につけ、ねばり強く、繰り返し取り組むことが大切です。授業だけでは時間が十分ではありません。家庭での学習が必要になります。裏面のグラフが示すように、土日の家庭学習の時間が1時間未満の人が52.1%と半数を超えています。まずは、毎日家庭で学習に取り組む習慣をつけましょう。学習を開始する時刻と学習場所と学習量を決めて取り組んでください。そして、家庭学習によって「計画を立てて 実行する それを続ける」力を身につけましょう。目先にある高校進学だけでなく、将来に目を向けて「今何をすべきか」「何を大切にすべきか」考えてみてください。